

総合政策会議会議録

日 時	令和 8 年5月18日(月)9:00～9:30
場 所	市長室
出 席 者	〔構成員〕 市長、伊藤副市長、小玉副市長、教育長、総務部長、総合政策部長(欠席)、財務部長 〔陪席者〕 秘書課長、政策推進課長 (事務局)政策推進課 〔説明者〕 政策推進課長
議 題	市政運営の新たな推進体制について
論 点	総合計画や市長公約の推進に向けて、これまでの推進体制を見直し、新たな推進体制で実施することについて、協議するもの
説 明 要 旨	○松戸市政の推進に向けたフロー ・ 総合計画の推進、市長公約達成に向けて、財政運営の基本方針を踏まえ、課題を明確化する。 ・ それらの課題について、職員提案・民間提案も活用し、また総務部、財務部、総合政策部の3部で調整し、新たな政策協議の場で議論する。 ・ そのほかに、財政戦略会議で部局間の調整が必要となったものも、新たな政策協議の場で議論する。 ・ その後、調整が必要なものは総合調整会議、政策判断や意思決定が必要なものは総合政策会議の場で協議し、実行に移していく。 ・ これ以外にも、若手職員との対話や、プロジェクトなど、政策協議を経る必要のないものについては、総合政策会議で意思決定を図る。 ○重点課題の抽出・設定 ・ 総合計画、公約の進捗の観点から重点課題を設定する。 ・ 重点課題について可能なものは情報公開し、職員・民間提案につなげる。 ○政策協議 ・ 重点課題をテーマとして議論し、総合調整会議、総合政策会議を活用することで、課題解決を着実に進める。 ○職員提案制度 ・ 自由提案に加え課題設定型提案を導入するとともに、提案手続の簡素化や市長へ生の声を届けることを通じて、提案しやすい環境づくりを進める。 ○産学官民連携事業提案 ・ 重点課題に基づくテーマ設定型の提案募集により、民間ノウハウを活用した実現性の高い連携を目指す。 ○市長・若手職員オフィスミーティング ・ 市長と若手職員が直接対話する場を新たに設け、「政策の芽」の蓄積や市長と職員の相互理解の促進、「言える組織」文化の醸成を図る。 ○総合政策会議の改名 ・ 重点課題等に対する政策判断の場であることを明確化し、市政運営

総合政策会議会議録

	の推進体制が変わったことを意識してもらえよう、会議名称の変更をする。
主な意見等	・ 人材育成の観点から、部長職だけでなく、課長職や補佐職にも政策的視点で考える機会を持たせることが望ましい。 ・ 全庁的な取組については、部長から情報発信を行うことが効果的である。 ・ 課題解決のためには、市長部局と教育委員会との連携強化が重要である。 ・ 「総合政策会議」の新たな名称は、「経営戦略会議」とする。
結 論	・ 新たな推進体制が承認された。 ・ 「総合政策会議」は、「経営戦略会議」に改名する。 ・ 教育委員会との連携強化に向け総務部、財務部、総合政策部に加え、みらい教育創造部の4部での調整を図ることとする。